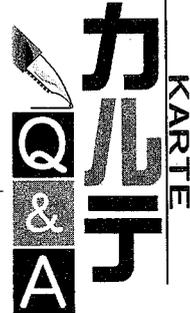


側彎症で痛みが腰、座骨、太もも前後、ふくらはぎにあります。ブロック注射や鎮痛剤を飲んでいますがあまり効果がなく、この痛みが一生続くのかと思うとつらいです。少しでも痛みを軽減する方法はないでしょうか。漢方はどうでしょうか。(77歳、女性)

変形性腰椎症



尾上徹医師

ご相談は症状からは、腰椎で神経が押さえられ、下肢に影響しているようです。症状によつては、変形性腰椎症や腰部脊柱管狭窄症のような病

痛み軽減には四つの治療法

名がつくのではないかと思えます。排尿障害(おしっこが出にくい、残った感じがする)や筋力低下(足に力が入らない、スリッパが脱げやすいなど)はありませんか。腰が原因の排尿障害は早めに手術を勧めることがあります、できるだけ早

く整形外科専門医を受診すべきです。

排尿障害や筋力低下がなければ、痛みを取ることで治療の目的になります。

MRIで、どの神経がどの程度、何で押さえられているかが分かります。その上で、治療は大きく四つに分けて考えます。

え、痛みを和らげます。

三つ目はブロック治療です。既に受けたとのことですが、ブロックもさまざまな方法があります。硬膜外ブロックは、神経の通り道に痛み止めを打つ方法です。神経根ブロックは、痛みの原因となっている部分の周囲に注射し、痛みを取る方法です。

一つ目の薬物治療には、痛みを取るための消炎鎮痛剤やオピオイド(医療用麻薬)があります。漢方は体質によって合う薬が違うので、漢方専門医に相談した方が良いでしょう。二つ目は物理療法で、腰を引っ張ること(けん引)で神経根や椎間板の炎症を抑

え、痛みを和らげます。三つ目はブロック治療です。既に受けたとのことですが、ブロックもさまざまな方法があります。硬膜外ブロックは、神経の通り道に痛み止めを打つ方法です。神経根ブロックは、痛みの原因となっている部分の周囲に注射し、痛みを取る方法です。

きい場合、四つ目となる手術を検討します。

主治医によく相談されるのが第一だと思えますが、このような症状は整形外科の他、ペインクリニックでも治療しています。

(兵庫県整形外科医会、尾上徹 加古川市、尾上整形外科) ◆第1、3、4日曜に掲載します。